

「北野町の教会建築めぐり」事業報告

まち歩きを通して、建築士と交流しながら建築への理解を深めていただくことを目的とした建築たうんウォッチング。今回は、神戸を代表する観光スポット「北野異人館街」にある個性豊かな世界の教会・寺院めぐりを行いました。

開催日：平成 24 年 3 月 17 日(土) 13:00~17:00

開催場所：神戸北野異人館街及びその周辺

参加者：50 名(一般市民 47 名、建築士会会員 3 名)

語り部：すまいスクール委員会委員

前日の予報は雨。建物の外観を見ることもまち歩きの楽しみの1つ。天候が心配でしたが、当日は、午前中に雨が上がってくれました。また、雨予報から当日キャンセルが多くなることも予想されましたがそれもなく、市民の皆様の参加意欲の高さを感じられました。

■ 日本基督教団神戸栄光教会

12 時 45 分に教会前にて受付を開始。すでに多数来られており、すぐにほとんどの参加者が揃う。挨拶と説明の後、A 班 B 班に分かれて見学をスタート。少し遅れてきた方数名も内部で合流でき、まずまずの滑り出し。

最初に礼拝堂に着席し、ヴォールト天井とチーク材を壁に装った豊かで神聖な空間を体験し、続いて牧師様から阪神大震災で全壊した建物の復興の経緯、関係各者のご苦労、旧建物との違いなどをお話いただいた。また、参加者からの質問を受け付けた。参加者にとって、またとない機会となり、多くの質問があった。その後、2 階で以前の教壇、机、椅子を使った小礼拝室を見学した。普段なかなか見学できない場所を見学でき参加者は満足された様子であった。



栄光教会を後にし、山手幹線を北に渡って、竹中大工道具館、北野工房を経て、神戸ムスリムモスク(回教寺院)へ。道中も熱心にシャッターを押す参加者が多い。

■ 神戸ムスリムモスク(回教寺院)

建物は昭和 10 年竣工。スワガー建築事務所設計。鉄筋コンクリート造3階建て塔屋付きのイスラム建築様式。3 基のミナレット(尖塔)とタマネギ型ドームを持ち、ムハンマド(マホメット)の象徴である三日月を掲げるドームを持つ。(日本では神戸と東京の 2 カ所のみ)

竹中工務店が施工し、建築費は 10 万円(当時の金額)とのこと。設計図は消失してしまった。

ヒビなども見られる外壁は若干痛々しいが、長い年月を感じさせる。靴を脱いで会堂に入る。階段を数段上がったところに広間があり、西側壁面の中央の凹みに向かって座る。この凹みはミフラブといい、メッカの方角に向いているとのこと。お祈りは 1 日に5回。私たちが食事やティータイムを楽しむのと同じく、日常生活の一部となっている。

会堂には中 2 階があり、そこは女性のみ入ることができる。女性の案内係の方から、お祈りの時は男性が前、女性が後ろとなっているが、スペースの関係上、ここでは中 2 階を女性スペースとしていると説明を受ける。これは、男性がお祈りに集中するため、女性が視界に入らないようにするためとのこと。祈りの場

所が男女別になっていることや、女性の衣装の色・形が、すべてお祈りに集中するためのものであることを聞き、今まで感じていたイスラム文化に対する疑問が少し解けたようです。外へ出て、ミナレットを見上げながら、イスラム国家の国旗にあるのが三日月だと再認識できたところで、次へ。



ミフラーブの上部に「アッラーの他に神はなく、ムハンマドはアッラーの使者である」という言葉がかかっている。

神戸ムスリムモスクを出て少し東進し、信号を北上。異人館通りに出たところで左折し、シュウエケ邸を外から見る。この辺りから伝統的建造物保存地区となっており、点在する異人館に歩を止めてはパチリ。撮影に夢中になっている参加者を心配しながら北上して行くと、連続アーチが特徴的な真っ白な壁の建物が目に飛び込んできた。関西ユダヤ教会である。

■ 関西ユダヤ教会

昭和 45 年竣工。アメリカ人建築家による設計。鉄筋コンクリート造平屋建て。礼拝場所と食事スペースからなる。

当初、ここは内部見学可否の確認がとれず、外部から眺めるだけの予定であったが、交渉してみたところ、内部を見られることに。中に入るとすぐ食堂となっており、先ほどまで食事をしていたと思われる人が何人か残っていた。ドレスを着た女の子の歓迎を受け、入って行く。ここも礼拝場所は男女別となっていた。女性は奥のドアに進むよう指示される。入ると、カーテンがかかった衝立てがあり、その向こうで丁度聖典の朗読の学習会が行われていた。食事休憩を何度かはさみながら夜まで行われるという。男性は、入り口に入ってすぐ右側にあるドアから入室し、衝立てではなく直接見ることができる。



関西ユダヤ教会を後にし、登り坂を道なりに行くとハンター邸門跡がある。そこから坂を下って北野通りに出て、右折。しばらく行ったところにあるのが、パグワンマハピールスワミジェイン寺院。

■ パグワンマハピールスワミジェイン寺院(ジャイナ教寺院) 1985年6月竣工。

建物が奥まっているのと、その色調から、北野通りを見渡しても見えない。近くまで行って、その個性的な外観に驚く。階段で順番待ちをする間、何もかも大理石であることにまた驚き、思わず、どのように施工したのだろうと見入る。細部を撮影する参加者もいた。

入り口で靴を脱ぎ、2階の礼拝所の中へ入る。直進して振り向くと、お祀りしているマハーヴィーラ像の安置スペースがある。日本の仏像とは全く異なるきらびやかな像に向かって一同床に正座し、日本語を話せない関係者から身振り手振りながらお祈りの仕方を聞く。



すべて白大理石仕上げの外観。2階礼拝所内部も床、壁共白大理石貼となっている。大理石はインドで装飾加工されたもので、鉄筋コンクリート造の上に貼り付けられている。

ジャイナ教は、心の平安、他の生物との平和的共存、業の束縛から魂を徐々に解放すること、及魂のより高度な完成を目的とし、そのための5原則、1.不殺生、非暴力 2.真実言、嘘をつかないこと 3.盗みをしていないこと 4.貞潔、不道德な行動をやめる 5.執着しないこと、不所持 を説いている。執着心を捨てられない私たちは、カメラを手に次の目的地へ。

バプテスト教会へはまっすぐ向かわず寄り道をして北野通りを西へ向かう。女性の参加者が北野交番を「かわいい！」と写真におさめる。その北野交番を過ぎて1本目の小径を左折。坂を下って行くと、小松益喜氏などの画題になっている旧華僑協会などの異人館が並ぶ。参加者のひとりが「ここはテレビドラマに使われていました」と教えてくれた。

■ 神戸バプテスト教会

昭和27年竣工。小磯良平氏の住居兼アトリエ(戦災で消失)のあった敷地の一部を譲り受け建築。RC壁式構造。東西のサイドルームは木造。アメリカ南部コロニアルスタイルで左右対称が特徴。玄関扉は、当初の木製であるが、窓はアルミサッシになっている。(バプテスト教会の特徴であるアーチ型はそのまま踏襲)

残念なことにこの日は音楽イベントのリハーサル中ということで、内部に入らず、外部からのみの見学となりました。



バプテスト教会を右に見ながら坂を下る。しばらく歩き、一宮神社の手前を左折すると神戸ハリストス正教会がある。教会といっても近隣の住宅と変わらない規模の建物であり、十字架を見てやっと教会と認識できる。

■ 神戸ハリストス正教会

明治6年、神戸へ正教会が伝えられ、大正2年に平野祇園町に会堂が建てられた。1917年のロシア革命の影響で多くのロシア人亡命者が神戸に居住するようになり、信徒数が増えたが、平野の会堂は戦災により消失。昭和27年、V・モロゾフ氏(コスモポリタンチョコレート)の尽力で、現在の地に「正神女(聖母マリア)就寝聖堂」が建立された。

内部は、正面中央に“最期の晩餐”、これと向き合う位置(入り口のすぐ上)に“十字架にかけられたキリスト”など、イコンというキリスト、聖人、聖書に書かれている出来事などを描いた絵画が多数飾られており、参加者は興味深く眺めていた。司祭様より、正教会の由来などのお話を伺った。神戸で白人と言えばロシア人を指す程、ロシア人は多かったそうです。



正面上部の X と B の切り文字は、X=キリストス(キリスト)、B=ボスクレッセ=復活の意を表し、復活祭時には点灯される。これは神戸にしかないとのこと。

■ カトリック神戸中央教会

平成16年竣工。村上晶子アトリエ設計。鉄骨造2階建て。

神戸市中央区にあった3つのカトリック教会(中山手、下山手、灘)の聖堂が阪神淡路大震災で被災し、この地において神戸中央教会として新たにスタート。広場と社会活動神戸センター併設の地域に開かれた教会を実現。

当初の予定では、教会関係者の説明はなしとなっていたが、急遽、神父様にお話をさせていただけることになり、礼拝堂のイスに腰掛け、話を伺う。内陣に向かって床勾配がつけられているため、ほぼ視線の高さに神父様の顔が見える。説教する人を見上げる形になる他の教会とは大きく違い、祭壇が一番低い位置になるという。スタンドグラスから差し込む光は、内陣を照らすように角度が付けられており、この場所が一番明るい場所となる。神父様によると、この教会のこの場所に来れば、気分が明るくなって帰ることができるとのこと。



最期に、皆さんの気分が明るくなって帰ることができるように、参加者全員で記念撮影。



今回のウォッチングは、半日で歩ける範囲内でしたが、キリスト教(カトリック、プロテスタント、ロシア正教)、イスラム教、ユダヤ教、ジャイナ教などの世界の宗教建築物が、歴史建造物に現代建築・復興建築というさまざまな表情で見ることができる北野異人館街を、皆さんに堪能していただけたようでした。

参加者の皆様からは

「こんなにいろいろな教会を一度に見られてよかった」

「神戸にしながら、こんなところがあるなんて知らなかった」

「建築士会がこんな催しを毎年していることを知らなかった」

「またこういったイベントをするなら教えてほしい」

というご意見をいただきました。